



茅ヶ崎市記者発表資料
2024年6月3日
こども育成部保育課 課長 西山和志
電話0467(82)1111 内線 2159

2024年4月1日の保育園待機児童数の状況と対策

4月1日時点での市内保育園の待機児童数は9人、保留児童数は369人でした。

2024年4月1日に向けては、小規模保育事業の新設などにより83人分の定員増を図りましたが、申請者数の増加が前年と比べて約2.5倍の301人となり、結果として保留児童、待機児童ともに前年よりも増える結果となりました。

今後も申請者数の増加が見込まれることから、さらに待機児童解消に向けた取り組みを推進します。

1 市内保育所等数、入園数、待機児童数等の状況（各年4月1日現在）

区分	2022年	2023年	2024年	前年比
就学前児童数	10,914	10,778	10,550	▲228
保育所等数（※1）	74	74	76	2
定員数	4,530	4,530	4,613	83
申請者数（A）	4,889	5,008	5,309	301
入園数（B）	4,639	4,762	4,940	178
保留児童数（C）＝（A）－（B）（※2）	250	246	369	123
預かり保育を実施している幼稚園を利用①	36	49	54	5
企業主導型保育事業を利用②	17	9	11	2
求職活動を休止している③	47	21	21	±0
特定の保育所等を希望している④	43	65	139	74
育児休業の延長を希望⑤	85	97	135	38
待機児童数（D）＝（C）－（①～⑤）	22	5	9	4

（※1）保育所等数は、認定こども園と小規模保育事業等の地域型保育事業を含む

（※2）待機児童数はこども家庭庁の基準による数、保留児童数は実際に入園できていない総数

2 2024年度の主な課題と対策

申請が急増した要因として、物価高騰など社会情勢の変化による共働き世帯の増加に加えて、子育て世帯の転入超過が2023年に急増したことが考えられます。

待機児童と保留児童の増加を受けて、緊急的に施設整備を行うため、2024年6月議会で施設整備補助金の補正予算を計上しています。

また、慢性的な保育士不足の状況に加えて、新たな施設整備に伴い保育士不足が加速することが予想されるため、以前から実施している保育士確保対策を進めつつ、取り組みの見直しや新たな対策の実施について検討します。

施設整備

緊急的な施設整備

2025年4月の待機児童解消に向け、6月補正予算で7施設分（約190人分）の施設整備費を計上します。

整備にあたっては、2025年4月に間に合わせるため、分園、小規模保育事業の認可保育所化、新規小規模保育事業の設置などを予定しています。

申請数の増加に対応した施設整備

今後も当面は申請数の増加が予測されるため、申請数の変化や地域偏在を注視しつつ、保育ニーズの増加に対応できる量の受け皿整備を行います。

保育士確保

ちがさき保育士就職相談会

保育士と市内保育所等のマッチングを図る（年2回開催予定）

茅ヶ崎市保育士就職奨励金

保育士が茅ヶ崎市内の保育所等へ就労した場合、2年間で最大20万円

保育士宿舍借り上げ支援事業

保育士の宿舍借り上げを行う事業者に対して、家賃補助を行うもの

保育士バンク事業

登録者へ保育士求人情報等をメールマガジン形式で配信